

は
が

「あまい」「ジャムにしたい」
摘んで食べて…ブルーベリーに
夢中の小学生です



山積みにした朽木で繁殖
させたカブトムシを
「かぶと虫ドーム」で
放し飼いにしています

とに夢中。汗を流しながら、楽しそうに摘んだり食べたりしていました。休憩時には、収穫したブルーベリーのジュース

今年もブルーベリーが豊作です

～ 谷ふれあいの館 ～

夏休みに入った7月22日(金)、波賀町谷「ふれあいの館」周辺のブルーベリー園では、今年も波賀小学校の一、二年生51名がブルーベリーの収穫を手伝いました。

子どもたちは 各々の帽子を籠代わりにして、濃紺に熟した果実を摘み取ることに夢中。汗を流しながら、楽しそうに摘んだり食べたりしていました。休憩時には、収穫したブルーベリーのジュースをのどを潤した後、「かぶと虫ドーム」でカブトムシとふれあい、夏の日を満喫しました。

この事業は、波賀小学校区で取り組まれている「県民交流広場事業」の一環で、今年5年目を迎えました。事業を中心的に運営している「谷・村おこし推進委員会」は、ブルーベリー栽培の他にも、カブトムシやホタルの繁殖、炭焼きやコンニャクづくりに取り組み、都会からのお客様にも人気です。補助事業は今年度で終了となりますが、ふれあいの館を中心とした取り組みは地域に定着しつつあります。

地域の特性を活かし、大人と子ども、田舎と都会を結ぶことができました事業の今後に期待します。

(波賀支部 可藤和成)

ち
くさ

さまざまな場でいろいろな人と関わり、学ぶ機会を持つことはとても大切です。

今年の夏休みには、千種町内の小学3年から6年までの児童と中学生32名が、科学実験(人エイクラ作り)、デイ合宿(岩野辺公民館)、警察犬訓練所見学(二本市)や手話体験教室(センターちくさ)などの活動に参加します。



「学ぶ」+「人」で『まなびっと』
(7/28 デイ合宿)



朗読ボランティアとの交流
(7/23ボランティアまつりにて)

7月22日(金)千種南小学校体育館で、今年で13回目となる『まなびっとクラブ』開級式が行われました。

この講座を通じて、ともに生きることの大切さを学んでほしいと思います。

(千種支部 小原志のぶ)

体験から学ぶ人権講座 まなびっとクラブ

